

# 自治会と兵庫県樹木医会の連携による、 緑豊かな住みよいまちづくり事例

神戸市西区桜が丘自治会 2019年度事例

## ★桜が丘自治会の沿革と事業の経緯

- ◆桜が丘地区の入居が始まった1975年ごろは、まちの名前が示すように2000本の桜が植えられた。
- ◆2009年には、地域協定委員会を作り、神戸市とまちづくり協定を締結し、「緑豊かでゆったりと落ち着いたまち」を基本理念とし、建築物の制限、屋外広告物の制限などを定めた。
- ◆2015年ころからは、自治会として毎年行政にお願いして桜の苗木を数本提供してもらい、植樹を行っていた。
- ◆2017年には、桜の樹勢が弱っていることから、自治会として樹木医の講演を企画し、講演を受けて参加者の中から桜の手入れをするメンバーを募り、「さくら守」が結成された。
- ◆2018年には樹木医会が共催する明石公園桜守講習会に、さくら守グループから2名が特別参加した。同年申請していた「宝くじ桜」の寄贈が決定し、樹木医会の助言により県土整備部まちづくり局都市政策課緑化政策班に相談し、県民緑税補助金を申請した。
- ◆2019年宝くじ桜50本と緑税による400本の低木の植樹がスタート。樹木医による公開講座と実習を開始した。



桜が丘 さくらの並木道

## 神戸市西区桜が丘自治会

### さくら守グループ

■2019年桜の苗木50本、  
低木の苗木400本を植樹

地元小学校の子どもたちと  
自治会員とで桜の植樹

■樹木の維持・管理・土壌改良

- ・倒壊危険木の伐採や剪定  
⇒チップ化して堆肥化  
～自然循環～
- ・堆肥の中に、カブトムシ養殖  
⇒自治会の子ども向けイベント  
に活用

■竹の伐採 ⇒ 里山観察  
会で、子どもたちが竹馬、  
花器、けん玉づくり



神戸市西区桜が丘地区

### 県民緑税による補助金

緑化計画面積に  
応じた補助金



宝くじ桜  
桜の苗木の贈呈

■樹木を守り育てる人材の育成



自治会員対象の講座



桜守への現地実習

樹木に関する専門知識と  
技術の指導・アドバイス

NPO法人兵庫県樹木医会

名称	内容	詳細
宝くじ桜	宝くじ収益による桜贈呈事業 (宝くじの社会貢献広報事業)	(公財) 日本さくらの会
「県民緑税」活用による植樹支援	県民緑税を活用した災害に強い森づくり、環境改善や景観の向上を目的とした都市の緑化推進事業。 ※当事例は、県民まちなみ緑化事業を活用	兵庫県 県土整備部まちづくり局都市政策課緑化政策班
	≪県民まちなみ緑化事業例≫ ①一般緑化	公園、広場、マンション、道路・河川沿い、学校、土石採取跡地等への植樹や生垣の設置等を行う住民団体等に対し、緑地整備に要する費用を補助
	②校庭の芝生化	学校の校庭や幼稚園・保育園の園庭の芝生化に要する費用を補助
	③ひろばの芝生化	公園、広場、グラウンド等の芝生化に要する費用を補助
	④駐車場の芝生化	駐車場の芝生化を行う所有者や管理者等に対し、芝生化に要する費用を補助
NPO法人兵庫県樹木医会	樹木の診断・治療・予防事業や学術研究を通して、地域の樹木の健康管理を担う専門集団	



## 特定非営利活動法人 兵庫県樹木医会

<http://www.jumokui-hyogo.org/>

お問合せ先：和田邦孝

・E-mail [wadaya\\_ya@sage.ocn.ne.jp](mailto:wadaya_ya@sage.ocn.ne.jp)

・携帯電話 090-9052-6383